

円滑な年度更新のために

Microsoft 製品をご利用の方に

1人1台端末・クラウド環境における年度更新のために、次のような仕組みや機能が準備されています。

Windows 端末（新しい利用者に引き継ぐ場合）

端末を初期化する方法 テナント管理者 (教育委員会等)

1. Autopilot リセット (Microsoft 推奨)
2. Windows「回復」+ プロビジョニングパッケージ

上記1が、年度更新で端末を再利用する際に効果的な方法です。初期化の際に、児童生徒個々の情報や設定は削除し、学校共通の情報や設定はそのまま残すことができます。

データ

データを移行する方法 児童生徒

1. 個人PCのローカルディスク
2. USB等の外部メディア
3. 個人または進学先のOneDrive

個人/進学先のOneDriveがある場合、上記3が簡単な方法です。学校のOneDriveに保管していた既存のデータをコピーして、個人/進学先のOneDriveにペーストするだけでデータ移行が完了します。

Microsoft 365 アカウント

年度更新のアカウント更新の種類 テナント管理者 (教育委員会等)

- ① 作成 (入学生・転入生・異動してくる先生)
- ② 削除 (卒業生・転出生・異動していく先生)
- ③ 編集 (進級生)

アカウント更新の方法 テナント管理者 (教育委員会等)

1. Web上の管理ポータル (Microsoft 365 管理ポータル)
2. 管理用ツール (PowerShell)

上記1と2共に、更新するユーザープロフィール情報のリストを作成します。その後、上記1又は2を使い、作成したリストをアップロード・反映します。

授業で使う Teams の準備 Teams のチームの管理者

1. チームのアーカイブ、削除
2. チームの作成

チームのアーカイブ機能を利用することで、新しい投稿はできなくなるものの、アーカイブ後もチームで作成したファイルやチャット等を閲覧することができます。

■年度更新に関する各種資料、関連情報

<https://aka.ms/giga2022>

■年度更新研修のご案内

<https://aka.ms/nendo>

■お問い合わせ先

教育機関ご担当者様向け GIGA スクールお問い合わせ窓口

https://aka.ms/GIGA_info

